



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月11日

上場会社名 福留八ム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 治彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理支援部長 (氏名) 深町 誠

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,260	0.2	131		113		119	
2020年3月期第1四半期	6,273	0.3	108		82		110	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 97百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 234百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	35.82	
2020年3月期第1四半期	33.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,992	4,219	26.4
2020年3月期	15,462	4,122	26.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,218百万円 2020年3月期 4,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,300	3.4	130		115		130		38.96
通期	25,000	2.3	200		170		200		59.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	3,400,000 株	2020年3月期	3,400,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	62,932 株	2020年3月期	62,932 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	3,337,068 株	2020年3月期1Q	3,337,178 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を背景に、日本国内においても、感染拡大防止に向け、政府による緊急事態宣言が発令されるなど、外出自粛や休業の広がりなど経済活動が停滞する動き等もあり、大変厳しい状況となりました。さらには、緊急事態宣言解除後も景気回復の見通しは立たず、個人消費においても、将来の不安からくる節約志向や経済の下振れリスク懸念が高まるなど依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、在宅勤務などの推奨により巣ごもり需要は堅調に推移いたしました。消費者の低価格・節約志向は厳しさを増し、競合他社との価格競争の激化や輸入原材料価格の上昇、さらには人手不足等による労働コスト・物流費の上昇などの影響もあり、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念の更なる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、あふれる味覚をもってお客様から選ばれ続ける存在となるため、今期を初年度とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」を策定し、利益を創出できる体質への転換を重点施策として、製造品目の絞り込みやロジスティクスの最適化など競争力強化に努めてまいりました。また、新型コロナウイルス感染症対策としましては、従業員及び関係者の健康と安全を守ることを最優先とし、「FRA(福留ハム・リスクマネジメント・アクション)委員会」を適宜開催し、勤務時間及び通勤方法を見直し、オフィスの分散化や衛生管理の徹底、さらにはテレビ会議等の活用など全社員に周知徹底を行い、事業リスクの最小化や事業活動の継続に取り組んでまいりました。

販売に関しましては、「花ソーセージ」「JAS特級あらびきポークウインナー」のCM放映の継続に加え、毎月100名様に商品詰め合わせセットやQUOカードが当たる「岡山県工場1周年記念キャンペーン」を実施し、販売強化を図ってまいりました。また、商標登録ブランド「ロマンティック街道」シリーズに加え、オリジナル商品「花ソーセージ」に赤唐辛子を入れた「ピリッと辛い辛口風味花ソーセージ」を発売し、販売・販路拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、62億60百万円(前年同四半期比0.2%減)となりました。利益につきましては、営業損失は1億31百万円(前年同四半期は営業損失1億8百万円)、経常損失は1億13百万円(前年同四半期は経常損失82百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億19百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億10百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、引き続き消費者の節約志向や企業間競争の激化など厳しさを増すなか、新型コロナウイルス感染症の拡大による巣ごもり需要の影響により、「JAS特級あらびきポークウインナー」や昨年より発売を開始いたしました「あらびきKING」などのウインナー類、「肉厚ハンバーグ」シリーズや新商品「炭火焼ハンバーグ」などのハンバーグ類が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。利益面におきましても、生産性の改善やコスト削減努力を継続したことなどにより増加いたしました。

その結果、売上高は29億18百万円(前年同四半期比6.9%増)、セグメント利益(営業利益)は1億1百万円(前年同四半期比33.4%増)となりました。

食肉事業

食肉事業におきましては、国産牛肉は、新型コロナウイルス感染症拡大により販売単価の下落や企業間競争の激化などにより、販売量、売上高とも減少いたしました。輸入牛肉は、豪州産牛肉が堅調に推移し、販売量、売上高とも増加いたしました。国産豚肉は、輸入豚肉における新型コロナウイルス感染症による加工場の操業停止や稼働制限による今後の安定供給の懸念から需要が高まり、販売量、売上高とも増加いたしました。利益面におきましては、国産豚肉の仕入価格高騰や輸入豚肉の販売量、売上高の減少などにより、前年同四半期を下回りました。

その結果、売上高は33億42百万円(前年同四半期比5.7%減)、セグメント損失(営業損失)は54百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)39百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億29百万円増加の159億92百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億25百万円増加の66億95百万円となりました。主な要因は、現金及び預金47百万円、商品及び製品1億9百万円、原材料及び貯蔵品1億23百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加の92億97百万円となりました。主な要因は、投資有価証券3億8百万円の増加と建物及び構築物44百万円、機械装置及び運搬具36百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加の117億72百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億7百万円増加の81億13百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金3億82百万円、短期借入金89百万円及びその他流動負債1億42百万円の増加と賞与引当金82百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ75百万円減少の36億58百万円となりました。主な要因は、長期借入金73百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ97百万円増加の42億19百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億11百万円の増加と利益剰余金1億19百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、2020年5月14日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,512	2,559
受取手形及び売掛金	2,463	2,492
商品及び製品	1,050	1,159
仕掛品	48	55
原材料及び貯蔵品	267	391
その他	28	38
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,369	6,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,957	2,912
機械装置及び運搬具（純額）	975	939
土地	3,003	3,003
リース資産（純額）	127	109
その他	68	65
有形固定資産合計	7,133	7,029
無形固定資産	30	43
投資その他の資産		
投資有価証券	1,699	2,007
その他	369	367
貸倒引当金	△140	△152
投資その他の資産合計	1,929	2,223
固定資産合計	9,093	9,297
資産合計	15,462	15,992

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,075	2,457
短期借入金	4,623	4,713
未払法人税等	43	18
賞与引当金	165	83
その他	697	840
流動負債合計	7,605	8,113
固定負債		
長期借入金	1,372	1,299
役員退職慰労引当金	353	312
退職給付に係る負債	1,754	1,713
その他	252	333
固定負債合計	3,734	3,658
負債合計	11,340	11,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△298	△418
自己株式	△80	△80
株主資本合計	3,815	3,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373	584
退職給付に係る調整累計額	△67	△61
その他の包括利益累計額合計	305	522
非支配株主持分	0	0
純資産合計	4,122	4,219
負債純資産合計	15,462	15,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,273	6,260
売上原価	5,214	5,182
売上総利益	1,059	1,078
販売費及び一般管理費	1,167	1,209
営業損失(△)	△108	△131
営業外収益		
受取利息及び配当金	21	22
不動産賃貸料	14	14
その他	14	10
営業外収益合計	50	46
営業外費用		
支払利息	17	16
不動産賃貸費用	6	7
その他	1	4
営業外費用合計	25	28
経常損失(△)	△82	△113
特別損失		
投資有価証券評価損	26	-
特別損失合計	26	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△109	△113
法人税、住民税及び事業税	8	6
法人税等調整額	△8	-
法人税等合計	0	6
四半期純損失(△)	△110	△119
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△110	△119

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△110	△119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△128	211
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	△123	216
四半期包括利益	△234	97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△234	97
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,729	3,544	6,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,729	3,544	6,273
セグメント利益又は損失(△)	76	△39	36

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	36
全社費用(注)	△144
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△108

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,918	3,342	6,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,918	3,342	6,260
セグメント利益又は損失(△)	101	△54	47

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	47
全社費用(注)	△179
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△131

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。